

通しやすい冬道のために地域のご協力を

問い合わせ 土ホグループ (☎853260)

市は、限られた除雪機械台数で速やかに交通を確保するため、雪を道路の両脇にかき分けて除雪しています。

皆さん一人一人のご協力で、除雪効果が大きく上がります。

除雪のための5つのお願い

1 間口の雪処理にご協力ください

道路を除雪した後に玄関前や車庫前にたまった雪は、道路へは出さず、道路脇や各家庭の敷地内で処理をお願いします。

2 路上駐車はしないでください

路上駐車があると除雪作業ができなくなる場合があります、周囲に迷惑が掛かります。



3 道路への雪出しはやめましょう

わだちができたり道幅が狭くなったりし、交通の妨げや交通事故の原因となります。

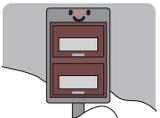


4 除雪車には近づかないでください

除雪作業中は大変危険です。事故防止のため、除雪車には近づかないでください。

5 滑り止め用の砂や融雪剤の散布にご協力を

急な坂道には、滑り止め用の砂箱を設置しています。散布と管理にご協力をお願いします。

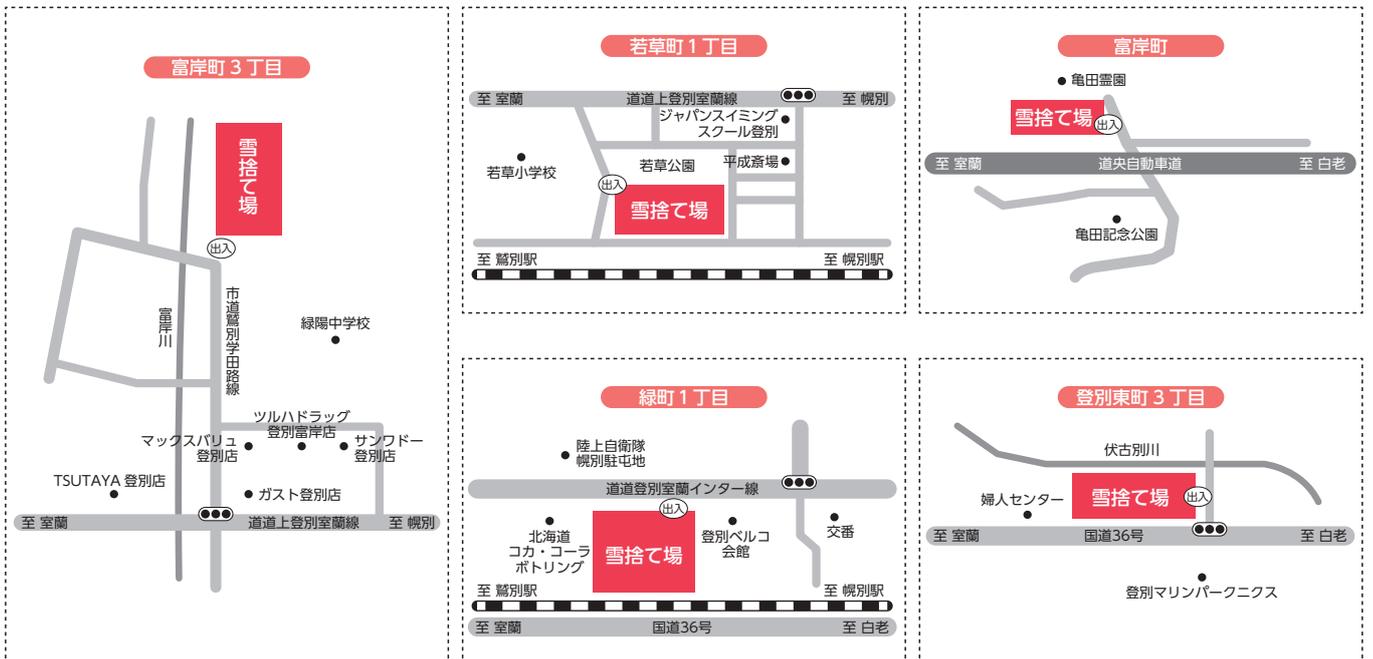


雪捨て場をご利用ください

利用時間：10時～17時

【利用上の注意】

- 雪以外の物は持ち込まないでください。
- 大型店舗の駐車場などの雪はご遠慮ください。
- 雪捨て場は奥側からご利用ください。
- 堆雪状況により予告なく閉鎖する場合があります。



認知症を知り、正しく対処

問い合わせ 高齢・介護グループ (☎05720)

認知症は、誰もがなり得る脳の病気です。市は、認知症になっても安全に暮らせるまちを目指し、認知症に関するさまざまな取り組みを行っています。

SOSネットワークシステムの実施

SOSネットワークシステムは、地域の方や関係機関の協力を得て、認知症などが原因で徘徊する方を一刻も早く発見して保護し、命を守ることを目的としたものです。

で異変を発見した場合に、市へ連絡するシステムです。

市は、SOSネットワークシステムを活用して、地域の支え合いや協力ネットワークを構築していけるよう、徘徊模擬訓練を実施しています。

徘徊している人を見つけたら…

- ・ 「どちらまでお出かけですか」「何かお困りですか」など、まずは優しく声を掛けましょう。
- ・ 連絡先が書いてある物を身に付けている場合は連絡先に、連絡先が分からない場合は警察署や高齢・介護グループへ連絡してください。
- ・ 長時間歩いて脱水状態になっている場合がありますので、水やお茶などの飲み物を勧めてください。

認知症サポーター養成講座の実施

認知症についての正しい知識を得し、自分でできる範囲で認知症の方や家族を応援する『認知症サポーター』を養成する講座を開いています。

認知症サポーターに期待されること

- ・ 認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症を発症した方や家族を温かい目で見守る。
- ・ 認知症の方や家族の気持ちを理解するよう努める、まちの中や職場でできる範囲で手助けをするなど、できることから実践する。

市は、町内会や老人クラブ、企業、小・中学校などで、認知症の理解を広く啓発していくために講座を行い、ことし8月現在、2千62人が講座を受講しています。

講座を受けた方には、認知症を支援するサポーターの目印として、オレンジ色のブレスレット『オレンジリング』を渡しています。



認知症の不安は専門機関に相談しましょう

認知症は、早期発見・早期治療が大切です。普段の生活の中で、自分や家族などに認知症についての心配がある場合は、お気軽にご相談ください。

認知症疾患医療センター

認知症の専門医療相談、鑑別診断(検査・専門の診察など)ができます。検査・診察は予約制です。

本人の受診が困難な場合、家族のみの相談にも対応します。

相談員による相談は無料ですが、検査・診察は保険診療の対象になります。

- ◎ 恵愛病院 (☎070100)
- ◎ 三愛病院 (☎033207)

地域包括支援センター

地域で暮らす高齢者を総合的に支援するため、市が委託運営している相談窓口です。相談は無料です。

認知症地域支援推進員が常勤し、認知症サポーター養成講座の申し込み受け付けをしています。

- ◎ けいあい (☎05005)
- ◎ ゆのか (☎2106)
- ◎ あおい (☎00511)